

令和7年度第2回岡山県立博物館協議会議事概要(要旨)

日 時 令和8年3月24日(火) 13:30~15:00

会 場 岡山県立博物館 講堂

出席者 委 員：岡野議長、三田副議長、辻田委員、栗原委員、明楽委員、美咲委員、青山委員、
富山委員、大久保委員、内田委員、
博物館：細川館長、内池副館長、坂本総務課長、重根学芸員、松井学芸員、岡崎学芸員
平田学芸員、馬野学芸員、山本学芸員、上岡主任
文化財課：浜原課長

欠席者 仲原委員、忠政委員、伊勢崎委員、岡田委員、鳥井委員

1 開 会

細川館長あいさつ

2 議 題

- (1) 令和7年度事業について
- (2) 令和8年度展覧会計画(案)について
- (3) 長期展覧会計画(案)について
- (4) その他

【委員からの質問(回答)・意見・提案・要望】

議題(1) 令和7年度事業について

①特別展の自己評価シートを見ると、準備が大変であることがわかるが、特別展の準備は、開催のどれくらい前から行うのか。

⇒来年度の9月に開催する特別展「宇喜多」に関して、現在準備をしているが、今年度の5月には、展示の目玉となる文化財を決定した上で、出品目録を作成し、先日、大まかな展示図面案や図録の構成案を完成させたところである。展示内容により異なるが、出品交渉や文化財の写真撮影にも時間を要する。そのため、特別展開催準備としては、2年くらいは必要となる。

②入館者が9月~11月に大幅に増えているが、これは特別展「花ござ」を開催したことによるものなのか、それとも刀剣乱舞ONLINEとのコラボ企画によるものなのか、どのように分析しているか。

⇒刀剣乱舞ONLINEとのコラボ企画によりどれだけ影響が出ているかを明確に把握するのは難しいが、アンケート結果を見ると、「刀剣乱舞ONLINEを目当てに来たが、花ござが素敵だった。」という意見も多かった。刀剣乱舞ONLINEとのコラボ企画をきっかけにこれまで博物館へ来館されることがなかった方たちにも多く来館していただけたと考えている。

- ③入館者数5万人という目標があるのであれば、きっかけは違っては、来館していただくことが必要だと思う。刀剣乱舞ONLINEのように有名な媒体とのコラボ企画などにより人を呼び込み、特別展を見ていただくという手法も取り入れながら今後も頑張りたい。（意見）
- ④外国人入館者が過去最多とのことであったが、外国人入館者を増やすために特別に何か行ったのか。
⇒後楽園の窓口で博物館の入館についてご案内していただいていることもあるが、10月から外国人向けの「楽しい岡山パス」というデジタルチケットに後楽園と一緒に参加した。そのチケット利用者が多いので、外国人入館者の増加に一番影響していると考えている。
- ⑤現在、県立美術館で開催している展覧会に携わって、インバウンド向けにいろいろと考える必要があると感じた。インバウンド向けに、岡山空港や旅行会社等を活用するというのもよいのではないかと思う。（意見）

議題（2）令和8年度展覧会計画（案）について 質疑等なし

議題（3）長期展覧会計画（案）について

- ①特別展の準備は時間がかかるとのことだったが、担当者が人事異動などにより不在となり、準備していた特別展がお蔵入りになることもあるのか。
⇒これまでも担当者が人事異動などで不在となり、特別展の内容を変更したことがある。

議題（4）その他

- ①博物館のSNSを見ると、展示内容の説明や写真がしっかりと掲載されており、わかりやすい。しかしながら、「いいね」の数が少ないので、もっとハッシュタグを活用して、多くの方の目にとまるようにした方がよい。（意見）
- ②先日ニュースで話題となっていたが、国立の博物館や美術館に関する文化庁の新方針では、外国人への二重価格の設定など、収益を追求していくような方向性となっており、今後、人気のあるコンテンツばかりを展示するのではないかと意見がある。さらに、文化財行政で重要となる収集・保存・修復・調査研究の意義が薄くなっていくのではないかと危惧されている。このニュースでいろいろと考えたが、身近なところから、文化財行政の重要性などを伝えていくことが大切だと思う。（意見）

3 閉 会